ごあいさつ

2021年度（令和３年度）の活動報告書が完成いたしましたので、ご高覧いただけますと幸いです。

新型コロナウイルス感染症による世界的な災禍は社会の様々な分野において大きな影響を及ぼし、感染の流行から２年以上経過した現在においても収束への見通しが立たない状況が続いています。今年度の栄養クリニックの様々な行事や活動についても、昨年度に引き続いて中止や変更を余儀なくされました。

しかし、ウィズコロナの環境下にある今年度も、栄養クリニックの４つの柱である「地域貢献」「教育活動」「広報活動」「研究活動」のいずれの分野においても事業を進めることができました。従来から行われてきた公開講座、大学祭における栄養アセスメント体験・栄養相談、特定保健指導、附属小学校での食育活動や本学の学生対象料理教室などは、制限された環境の中ではありますが実施することができました。さらに、今年度は、企業と学生のコラボ活動、健診施設とタイアップした動画制作、学外講演などの新しい活動も進めることができました。これも、多くの先生方やスタッフの皆様、関連する組織の皆様のお力添えをいただいたからこそ実現できたものと感謝申し上げる次第です。

現時点では、感染の収束がいつになるか、そして、感染後の世界がどのようになるかを判断することは困難です。しかし、このような大きな変化を逆にチャンスととらえ、アフターコロナの時代に向けて「新しい食と栄養の在り方」を模索し、既存の考え方にとらわれない柔軟な新しい発想を創出し、実行していく必要があると考えます。新型コロナウイルスの一刻も早い収束を願いつつ、今後も一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

令和４年３月
栄養クリニック長
宮脇尚志